

金沢桜丘高等学校 三桜会館





- (目的) 三桜会館は、大正12年に旧金沢第三中学校を開校するにあたって建築された建物で、その玄関棟、校舎棟の一部を同窓生の強い要望により保存された。大正期における校舎建築の造形水準の一端を示しており、価値が高いとされ、平成元年3月23日付けで石川県指定有形文化財となった。しかし、老朽化が進み、危険防止の観点から、金沢桜丘高等学校の校舎改築工事に併せて、耐震補強工事、内外部改修工事を行う事になった。意匠は、内外部共、現状復旧及び復元を基本とし、可能な限り既存材料の再利用を図った。



【1階ホール内観】



【2階三桜校史室内観】

-  : 県産材使用事例
外壁: 杉下見板
内部腰壁: 杉羽目板
-  : 環境配慮事例(景観)
内部壁・天井: しっくい塗り

DATA
・学校(高等学校)
・学校金沢市大樋町地内
・平成25年8月～平成26年3月
・木造:地上2階
・延床面積:1,056.18㎡